



人間牧場を
作ったのです

宇宙人に攫われた私たちが
人間牧場で
飼われて孕まされる

絶滅保護計画 Re

50p





絶滅 保護 計画 Re

宇宙人全裸おれ私たち
人間牧場で
飼育水で孕まされる



楽しみだね

宇宙

伊藤香菜



佐倉怜子



体験時間もそんなに長くないから大丈夫だよ



田辺 美由紀

無重力ってなんか怖そう



丹川 和樹

武藤 健

武藤 お前伊藤の事見過ぎだぞ 狙ってんのバレバレでキモイって

うるさいな!





また男子が
最低な事言ってる...

気にしちゃだめだよ

七郎君
何読んでるの？

真木 七郎

おっぱいが...
背中に...
当たっている...



うへ...

人間牧場...?

修学旅行に
持ってくる本じゃ
なくない...?
Hなヤツだ...

溜まってるなら
私があけても良いのに

...?



またちよっかい
出してたの？

うう~~~~

宙ぶらりんはキツイよー

直接告ればいいのに...

もうやったけど
返事貰ってないー！



伊勢崎 真尋
教師



まずこれから
スペースブレンで
衛星軌道まで上がります

危険だから
もう一度しおりを
確認してね

そこで無重力体験

その後
中継ステーションへ向かって
選択した体験学習と宿泊

そしてまた
この宇宙港に
戻ってきて観光よ



先生は宇宙に
行った事あるの？

ないわよ？

ないのー？

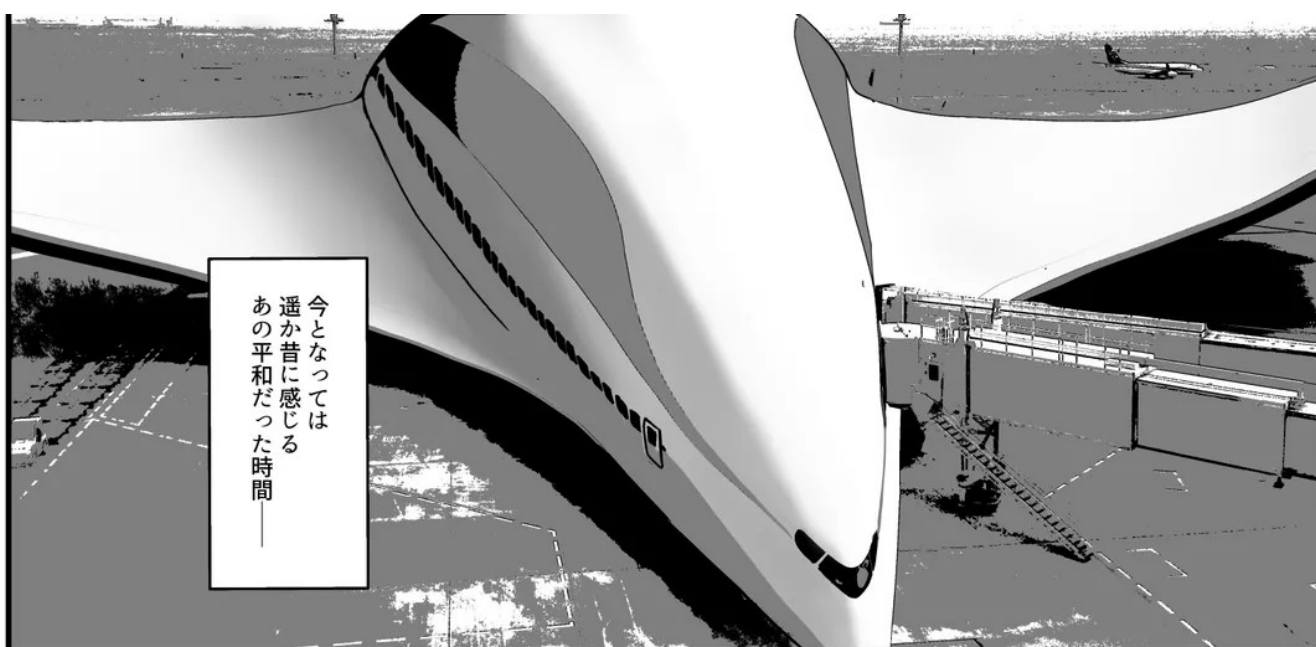
今回の修学旅行だって
抽選に当たったから行けるのよー？



中継ステーション行き
114便はまもなく
お客様を機内にご案内します

時間ね
皆準備して〜

はい



今となつては
遙か昔に感じる
あの平和だった時間



この頃の私たちは
自らを待ち受ける運命を

知る由も無かったので

絶滅保護計画Re

宇宙人に攫われた私たちは人間牧場で飼われて孕まされる



全滅しました

人類は
宇宙人の攻撃により



突然ですが



その時

偶然宇宙に出ていた
わたし達を残してー

わたし達
どうなるの？

おかあさん…

修学旅行で
スペースクルーズなんて
止めとけばよかったのよ

シャトルごと
捕まるなんて

まさか彼らが
知的生命体だったとはー

この子たちを
保護していなければ
絶滅させるところだった

地上はどうなったの？

そんなの
わかんないよ



若い個体ばかりで
幸いだっただ

あれ先生と
乗務員だろ!!

さつきまで
一緒にいただろ

マジかよ

我々の手で
繁殖させよう

お腹が…

酷い…!!



個体数を戻す
手助けが必要だ

彼らの構造は
把握している

いやあ!!

んん

んん

んん

んん



いやあつ!

ああっ

優しくしてっ!

どんどん
濡れてくるぞ

あつたけえ!

くそっ
どうにでもなれ!

とことん種付け
楽しんでやるぜ!

おっぱい吸っちゃ
だめええええ!!

やだあつ

子供産むなら
こっちも
仕込まないとな!

腰止まんねえよ!

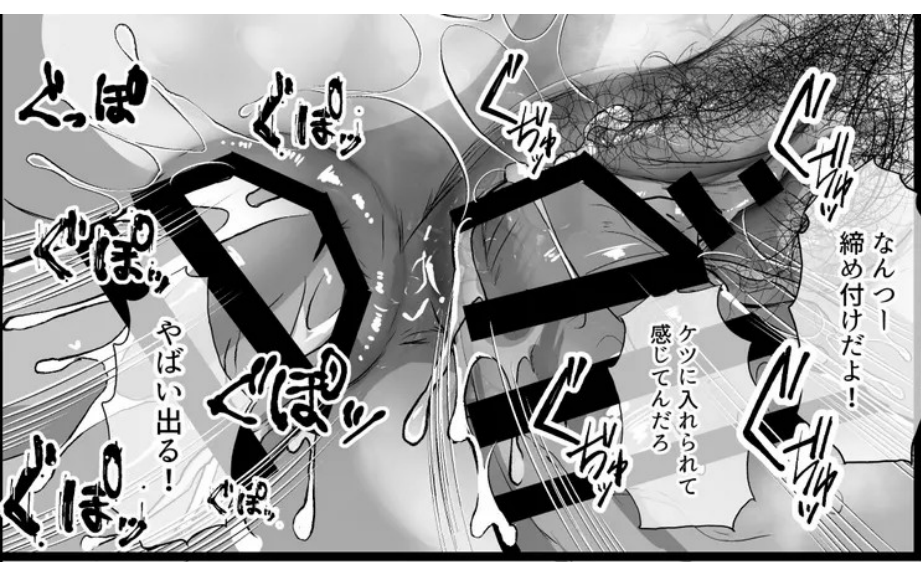
伊藤の
ヴァージン
いただきだ

大人しくしろ!

いきなり
そんなの
入らないよ!!

いやあああ!

こんな
エロいまんこで
啜えられたら



やばい出る!

ケツに入れられて
感じてんだろ

なんつー
締め付けだよ!



痛っ!?

なんでお尻につ!?

一度やって
みたかったんだよ

やだっ

ぬいてえ!



孕めええ!

いやあつ!



出さないで!
孕みたくない!!

あああつ!

膣内につ!

膣内につっぱい
出てるう!



人間牧場を作ったのです

わたし達を
効率よく繁殖させるため

そして
宇宙人たちは



これだけ
ケツが並んでたら

たまんねえな！

うっひよう
気持ちいい！

ずっと雌穴
ほじってたいぜ





それから
しばらくして
何割かの女子が
妊娠しました

お腹は
異常な早さで
大きくなり

宇宙人に身体を
改造されたと
気付いた頃には

臨月を
迎えていました

体重...3156g
体長...52cm
SEX...男

検査情報が
頭の中に流れてくる...

母...伊藤香菜
父...武藤健

えっ...



伊藤さん?

そんなの
嫌...!!

たっ
たっ



嘘...

この子の父親
武藤くんなの?

恋愛も結婚もしないまま
動物みたいに妊娠させられて

母親になるの?

そんなの...



伊藤さん!?

伊藤さん!?

大変っ
破水してる!



私
産みたくなっ
たっ!!

たっ
たっ

産まれた!

すばらしい
成功だ!

母体の
損傷が著しい

すぐに
回復させねば

分娩カプセルも
改良が必要だな

す
る...

うう...
んぎゃ

んぎゃ
あわあ
おぎゃあ
ああ!!!

新生個体が
自発呼吸を始めた

保育器へ急げ

んぎゃあ!!!

この声

産まれた...
の...?

えっ...
どこへ
連れて行くの?

待って
私の赤ちゃん...!

お疲れ様

まっ—

今は休みなさい

これが私の
初めての出産でした



もちろん
妊娠しにくい子も
大勢いて

大人しくしろ!

嫌ッ!!

放してよ!

悪く思わないでくれ

ねえ
こんな事やめよう?

Hしたいなら
またおまんこ
使わせてあげるから!



彼女たちは肉体改造を施され
強制妊娠させられるのです

ひっ

何!?



待っ……!

おまんこ

おまんこ

おまんこ



エエッ

ズッ
ズッ
ズッ

グ
グ
グ

んんん
んんん
んんん

んんん
んんん
んんん



ゴッ

何か出そうとしている

ゴッ
ゴッ
ゴッ

何か出てくる

うわ
うわ
うわ

んん
んん
んん

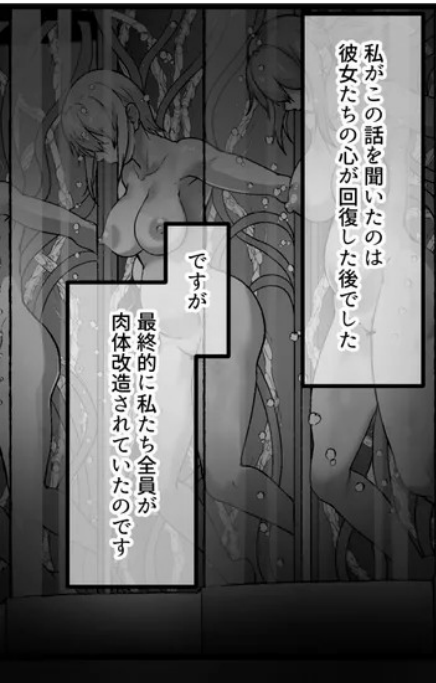
グ
グ
グ

そっか
無理矢理
妊娠させられるんだ

あああああ
あああああ
あああああ

ア
ア
ア
ア
ア
ア
ア
ア
ア
ア

グ
グ
グ
グ
グ
グ
グ
グ
グ
グ



その頃の
男子たちはと言うと...

ゴッポ...

ゴッポ...

嫌だああ!!

精液工場に繋がれて
どれだけ経った?

ああああ!!

延々と射精させられて
時間の感覚まで...

ゴッポッ

ゴッポッ

ゴッポッ

ゴッポッ

ままたイッ

おっお!!





それでも
放置してるとて事は

これも『必要な事』
つて判断されたんだろ



よく伊藤だけ
外してこれたな



とつくに
バレてるぞ



避けんなよ!

ケツもいい具合だぜ



やっぱ伊藤の
まんこはいいわ
他の女はとっくに
ガバマンになってるのによ

あいつら犯しても
リアクションすら
ねえもんな

あーっ
出る！

おらっ
お口が留守だぞ！

んぐら！！



あんまり奥まで
突っ込むなよ
それやって前
他の女が死にかけただろ

それが
どうしたよ



息が出来ないっ...



しっかり飲めよ！



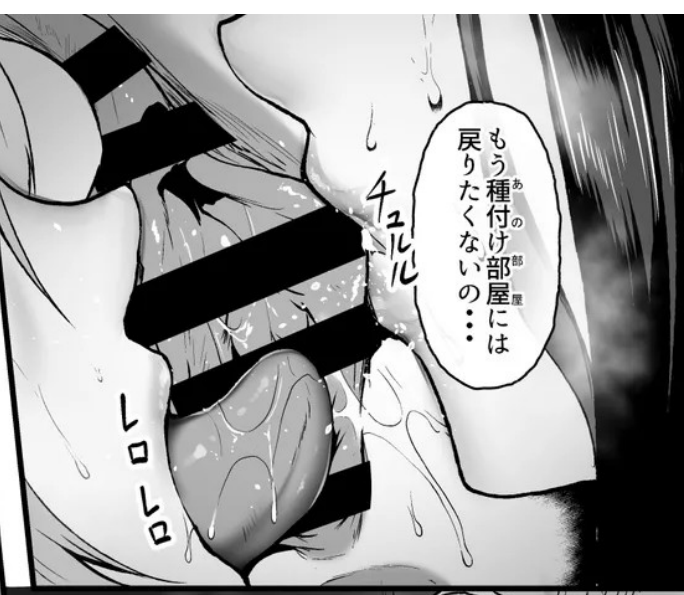


お前らばっか
伊藤使ってズルいぞ

うおっ
締まるっ



あぁ!!



もう種付け部屋には
戻りたくないの...



おらっ
もつと力抜けよ!

こいつらの
ケツ穴で我慢するか

くそっ

いきっ!

えあっ!?

こいつらケツに
触手ぶち込まれてるから
ゼリーで濡れてるんだよ

何だよケツが
ヌルヌルだぞ!?



お前ら
ガバマンなんだよ

使ってるだけ
有難いと思え



なんでお尻に!?

いああああ



何やってんだよ
佐川っ！

やめて
苦しい……！

こうしたら
締まるんだよ！

きつきつで
絡みついて

最高だぜえ！

死んじゃう……！



やめろよ佐川

本当に死にまうぞ

うるせえ！

どうせ
本当にやばくなったら
奴らが来て止めるだろうよ！

お前らも
早川と佐倉で
試してみろよ

あーっ
出る！

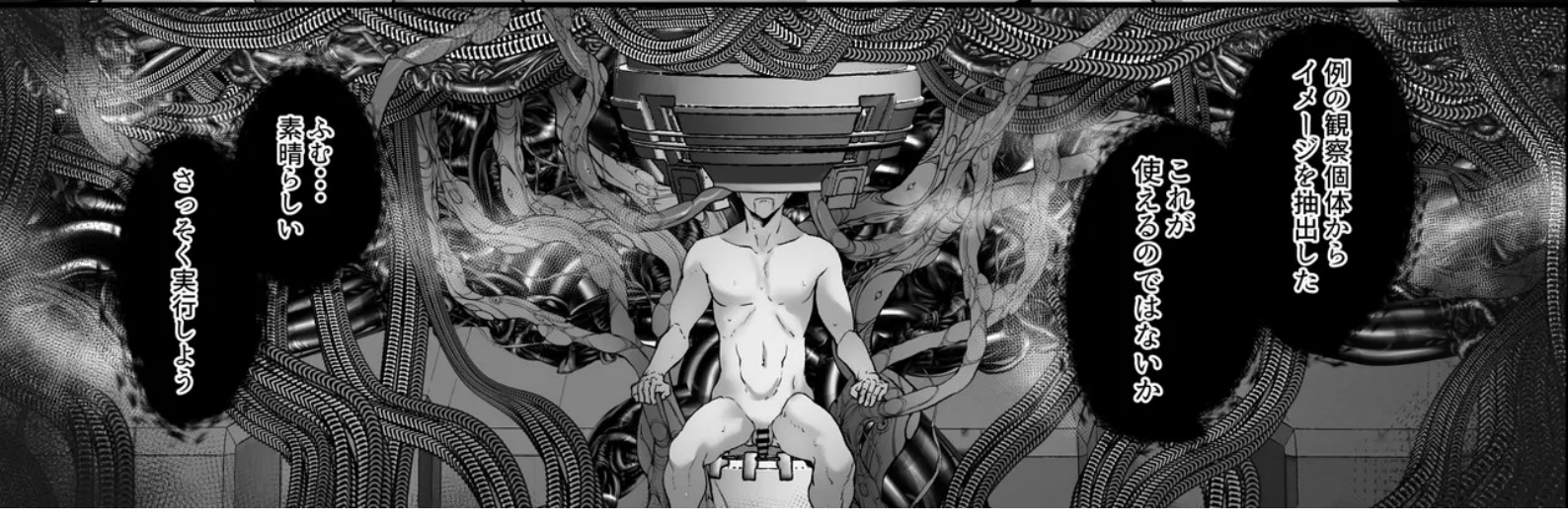


雄雌を別々に
管理するのが良いだろう

やはり
一部の雄個体の
攻撃性は危険だ

貴重な雌個体を
失いかねない

またプランの
練り直しか



例の観察個体から
イメージを抽出した

これが
使えるのではなか

ふふ...
素晴らしい

このまま進行して

これが効率的な繁殖場
ooなるものか

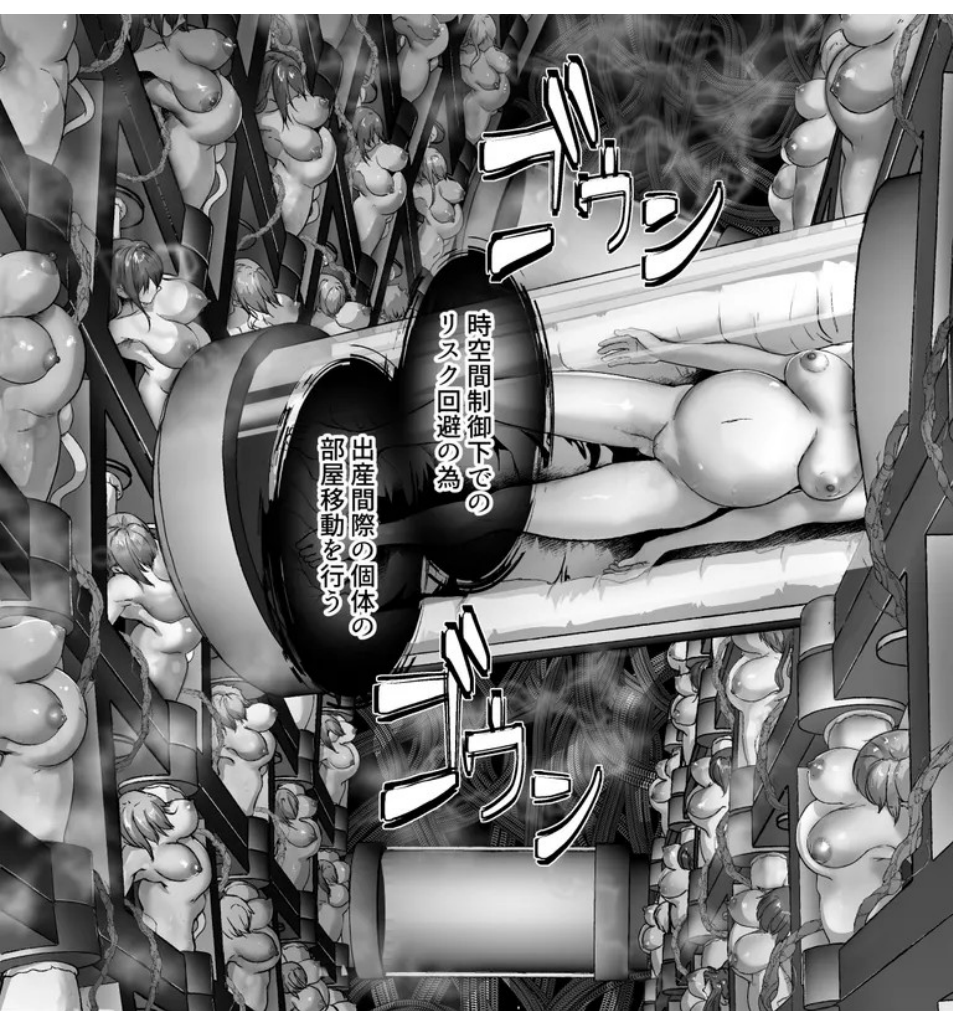
そうだ

『人間牧場』の完成だ

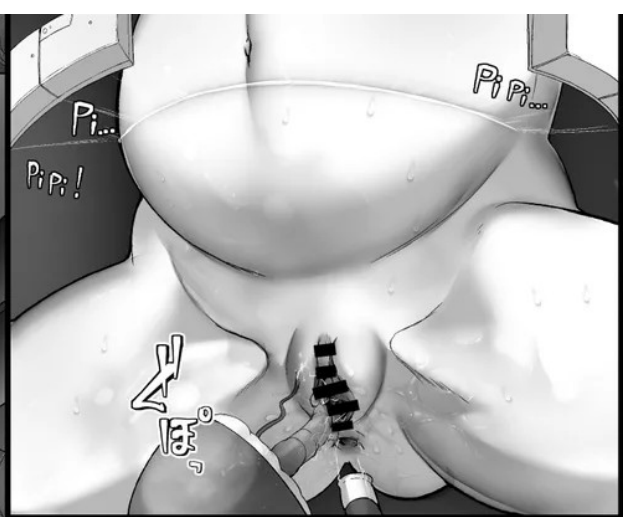
これでどうやう

完全自動で生殖から
出産までを管理できる





時空間制御下での
リスク回避の為
出産間際の個体の
部屋移動を行う



どほ、



これは一体...？



繁殖だけさせて
終りというわけには
いきまい？



人間牧場の
整備は出来たが...
生まれた個体の
教育はどうする？



任せられて



それについては
私に考えがある







我々は
「宇宙の免疫」だ

宇宙に湧く
『病原菌』を駆除している

奴らは魂を持たず

いたずらに
星を食い尽くし
空間を腐らせ

魂だけの存在である
我々すら侵食する



君たちの星を攻撃したのも
駆除の一環だ

観測では
この星に魂は
存在しないはずだった

それなのにだ

攻撃の瞬間
無数の魂が宇宙に霧散した

肉体という器が壊れ
内包されていた魂が
初めて観測出来たのだ



その時我々は気付いた

君たちが我々と同じ
『魂』を持つ存在なのだ

こうして対話できることが
何よりの証拠だ

すまない事をした



だから出来得る限り
自然繁殖で増やすことにした

生物を効率よく繁殖させる方法は
君たちの記憶を辿って学んだんだ

品種改良という概念もね



次は...

君たちを
『飼育』している事に
ついてだね

私たちも君たちに
苦痛を与えないよう
肉体の複製を考えたんだけ

しかしそれでは
肉体に魂は宿らなかった



君たちの
妊娠期間の長さは
増殖の課題だったからね

時間制御と
併用する事にしたんだ

結果は上々だ
子供たちの
世代差も解消できる



君たち
最初の世代には

寿命の延長と
妊娠期間の短縮
改良を加えてある



いつまで...

?

いつまでこんな事を
続けるんですか?

もちろん
君たちの数を取り戻すまで

と言っても
先ずは文明を維持できる
最小単位が揃うまでだ



安心して欲しい

もうすぐ
君たちの子供と繁殖個体を使った
生産プラントも完成する

君たちの負担も
少しは減るはずだよ



もう時間か
長話は君の魂に
良くないからね

では
また話せるのを
楽しみにしているよ

待って！

まだ
聞きたいことが

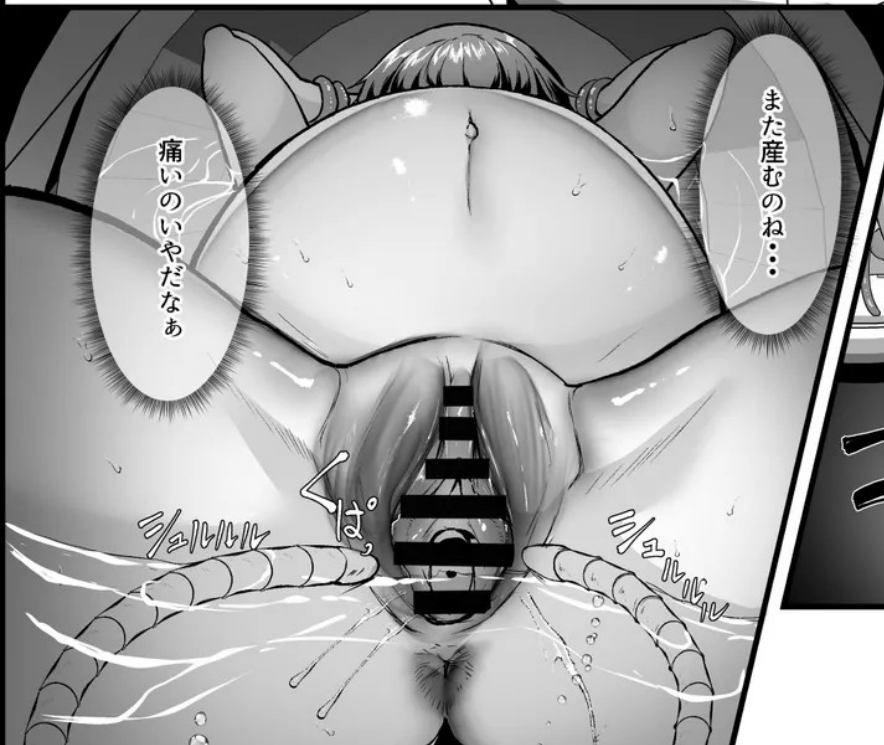


何故私に
そんな話を……？

もちろん
君に協力して貰う為だ

我々は
あまりに無知なのだ

どうか知恵を貸して欲しい



一方 私たちに乱暴した 佐川君たちは――



はなせ!!



はなせってんだよ!



女どもで遊んで 何が悪いんだよ!

がばっ

お前らだって 散々殺しただろうが!

人間を……!

俺の……

家族を……!

やめろ!

変なもの突っ込むな!

ズズズズ



ズズズズ





俺は殺されるのか？

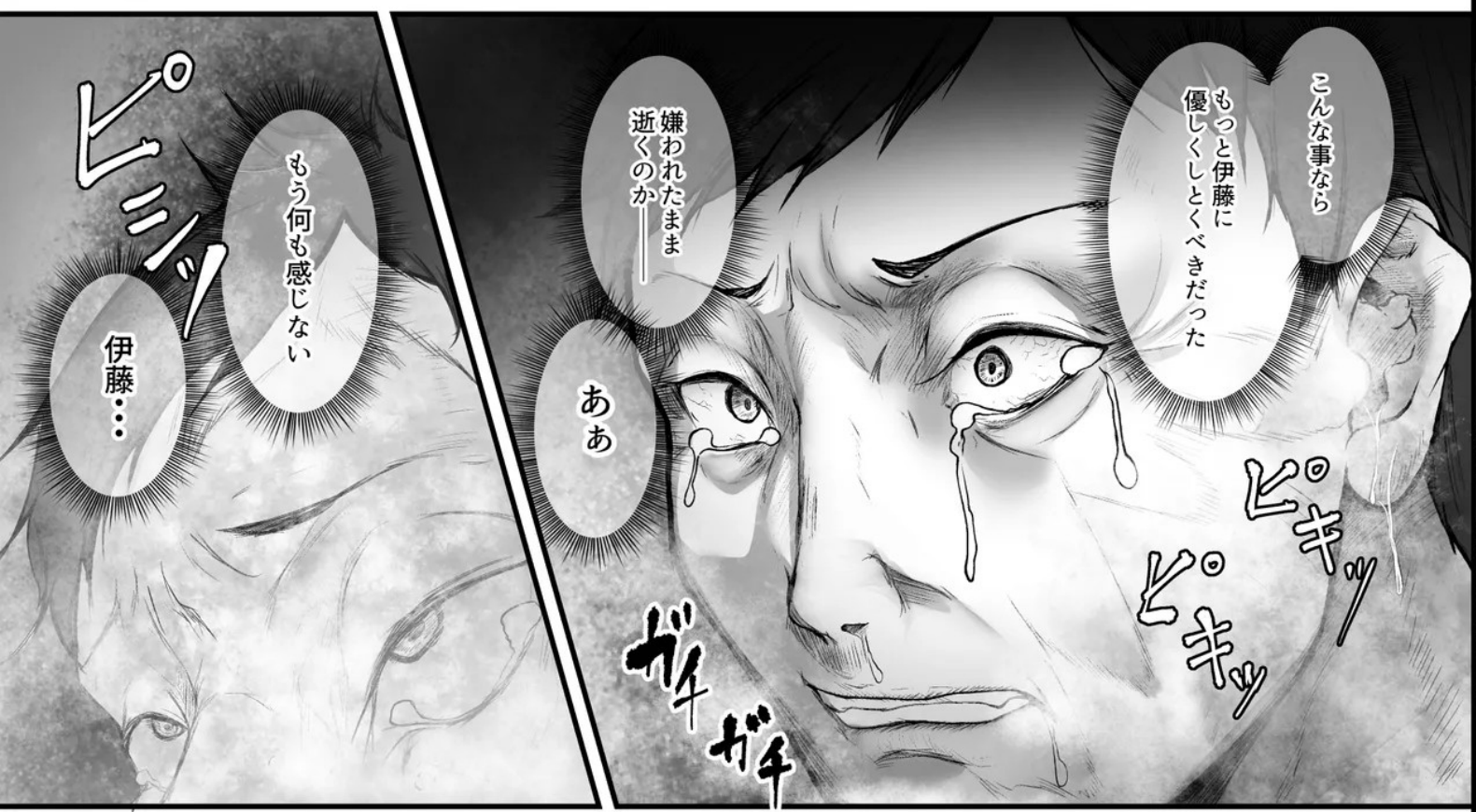
ちくしょう…

こんな事で…

ひびく

キキッ

うっ!?



こんな事なり

もつと伊藤に
優しくしとくべきだった

嫌われたまま
逝くのか

ああ

もう何も感じない

伊藤…

ガガ

キキッ



危険個体「佐川流」の
凍結…完了

保存に移行する

少々手荒な方法だったが
致し方ない

この個体も
この個体に攻撃される個体も
両方守るには最善だった

保護は優良個体「伊藤」の
ための願いでもある

何故だ

彼女は被害者だろう

彼女の思考も
我々の理解を超えている

この生物としての
我々は更に理解を超えている



拘束が解かれてる

ん...

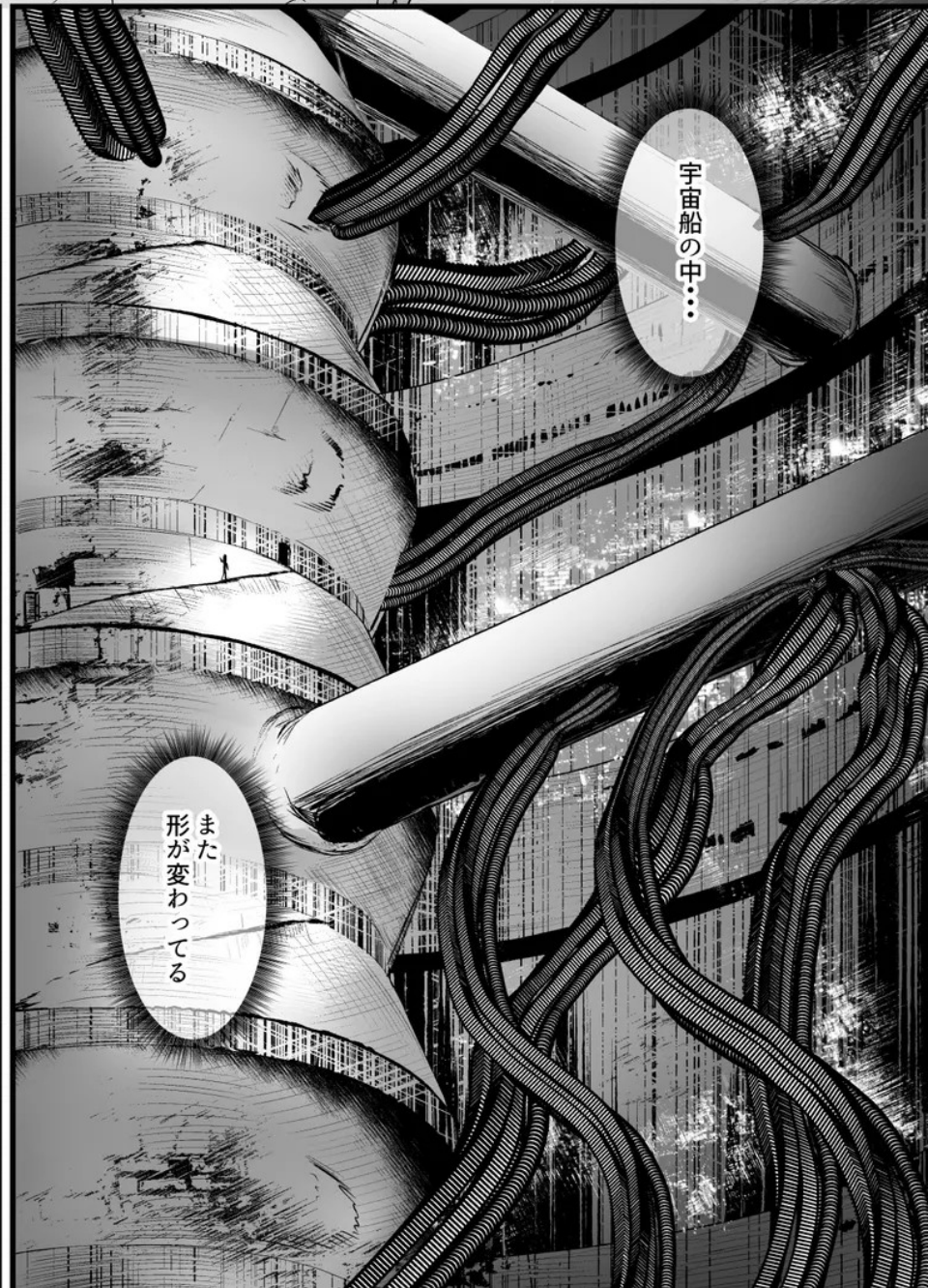
皆は繋がれたまま



歩き回ってもいいんだよね?

伊藤!!?

たろ



宇宙船の中...

また形が変わってる



うん……

女子も？

気付いたら
解放されてて
他の男子は
繋がれたままで



武藤君!?

はあ、はあ



今の私たちが
観察されてて
それで今後が
決まるのかも……

多分
言葉だけじゃなくて
行動とか……

話って
言ってもなあ……



そうか
伊藤もあの『夢』
見たんだな
美人？

うん
イケメン
だ
え、
夢が本当なら
全く話の通じない
相手じゃないと思う



SEXしない？

私とここで



武藤君さ
言ってくれたよね
私の事
「好き」って

ああ



そういうものを見せないといけないんだと思う

人間の感情とか
本当のSEXとか



本気だよ

宇宙人は
何も知らないから...

ぱっ...!

ドキドキ



じゃあ...

嫌?

嫌なわけな...っ



それとも
何度も
子供産んでる身体じゃ...



優しくしてね?



ごめん
赤ちゃん産んですぐだから

ちゅう
ちゅう

おっぱい出ちゃうの

...



あっ...

ぢゅっ
ぢゅっ

ぢゅっ

ぴゅっ
ぴゅっ

!!



やあっ
くすぐりたい
あ

ぢゅっ

ぢゅるる!!
もぎ

伊藤っ

はあっ

はあっ

そんなに
吸われたら恥ずかしいよ

伊藤...っ



ごめん
痛かった?

ううん...
そんな優しく
吸われたの
初めてだから

きもちいい



あっ♡

んっ...♡

ぢゅんん



落ちていて
そう
入りそ...

伊藤...っ!



もう...
私もお口で
してあげたかったのに

く
来て

はあ...



ああっ!

ふちゅ
ちゅ



ああっ!

はあ
はあ
あ

伊藤っ!



あああぁっ!!
あああぁ!!!

どろろ

どろろ!!!

どろろ
どろろ
どろろ

どろろ
どろろ
どろろ
どろろ



多分
またあの部屋に
戻されるんだろうな

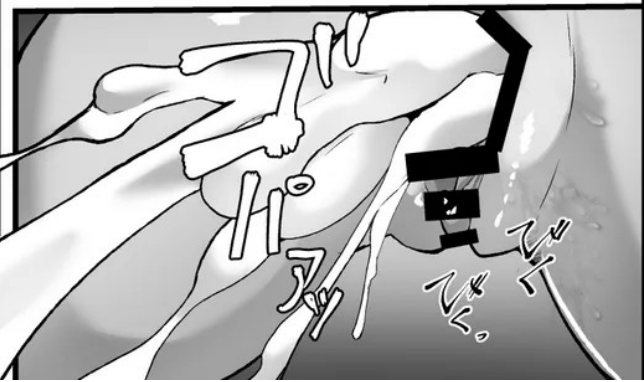
そうだね...

かなりの量...

どろろ



どろろ



どろろ
どろろ



あつ

でも
武藤君の子
妊娠したら

妊娠部屋に
行かなくて済むかも

前向きにならなきゃ



前向きだな...

伊藤と会えなきゃ
俺だって狂ってたよ

生きていかないと
いけないでしょ?

伊藤...



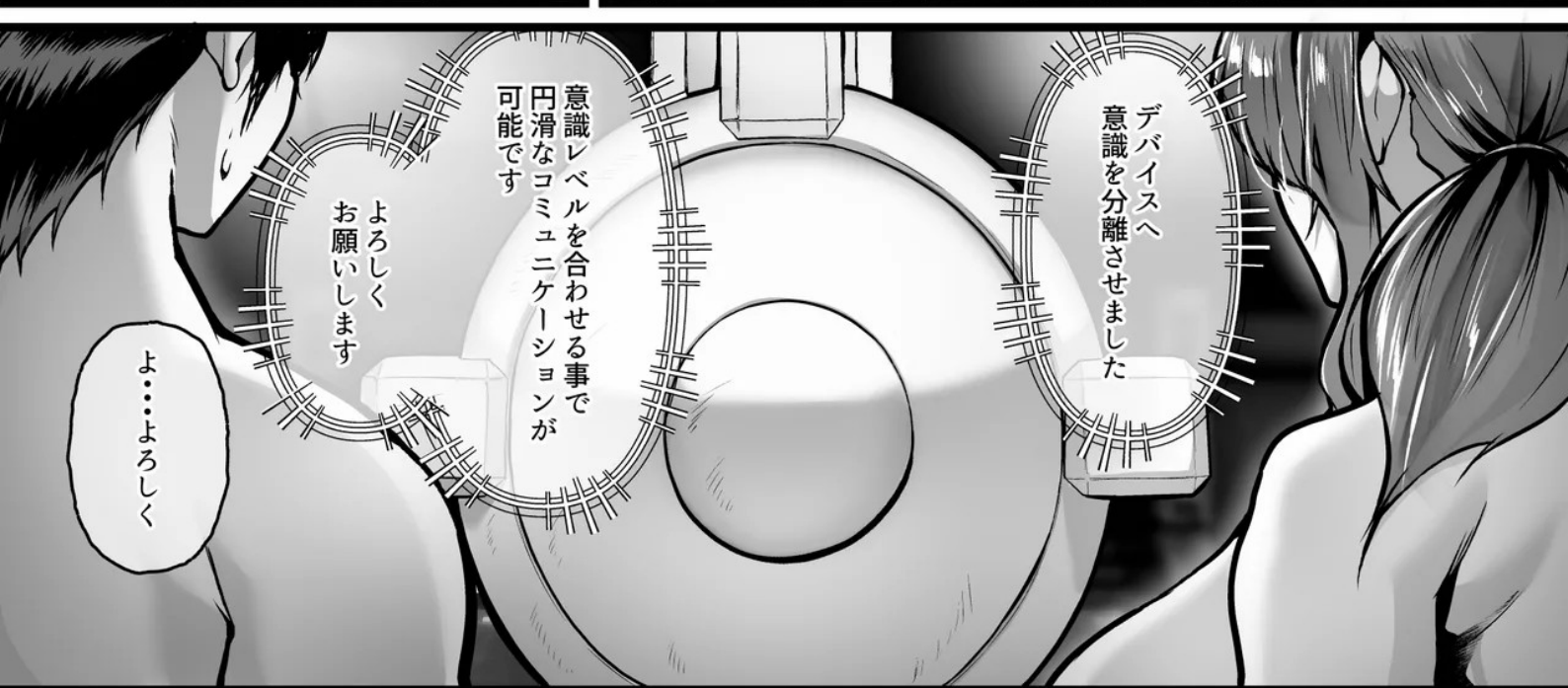
そういえば
私の最初の赤ちゃん

武藤君の子なんだって

ほんとか!?

喜んでくれるんだ

当たり前だろ!?





...

また時間が過ぎてる

武藤君はあつちで
いい夢見れてるのかな

これでもう
何度目の出産だろう

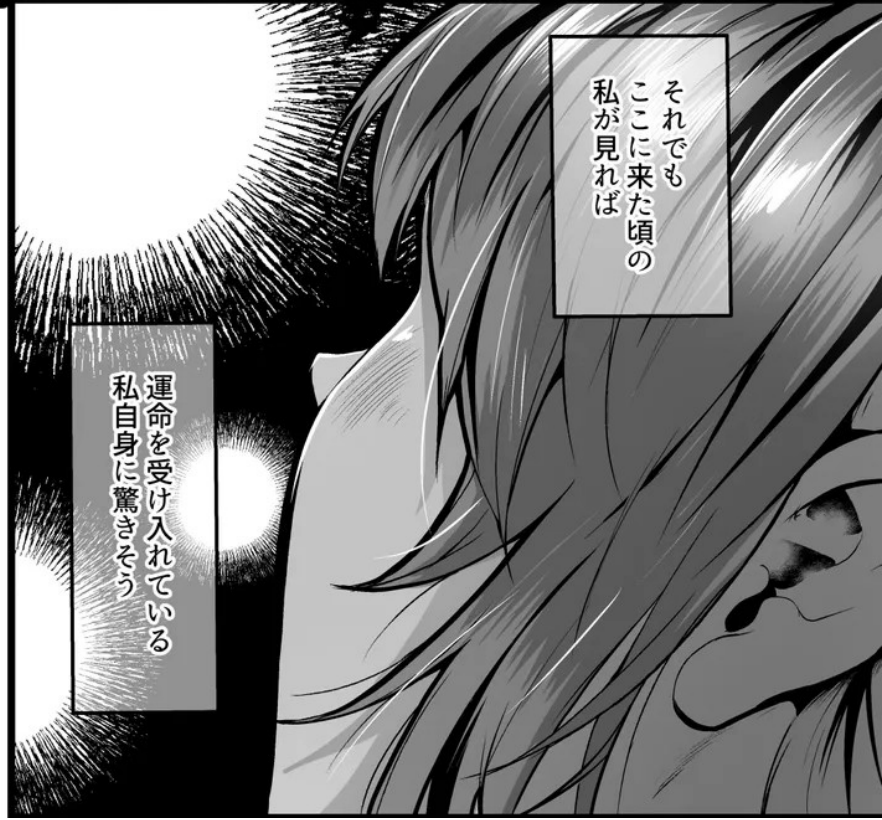
この痛みと不安は
いつまでも慣れないな

おれおれおれ



うぐうぐうあああ!!

茜ちゃん……?



それでも
ここに来た頃の
私が見れば

運命を受け入れている
私自身に驚きそう



おめでとーいおめでとうございます

男の子です

ゴウ



おおおおお

グッ グッ グッ



眞木七郎です

この子の父親は……?

あああああ

は は は



ふふ

七郎くんの
鼻にそっくりだ



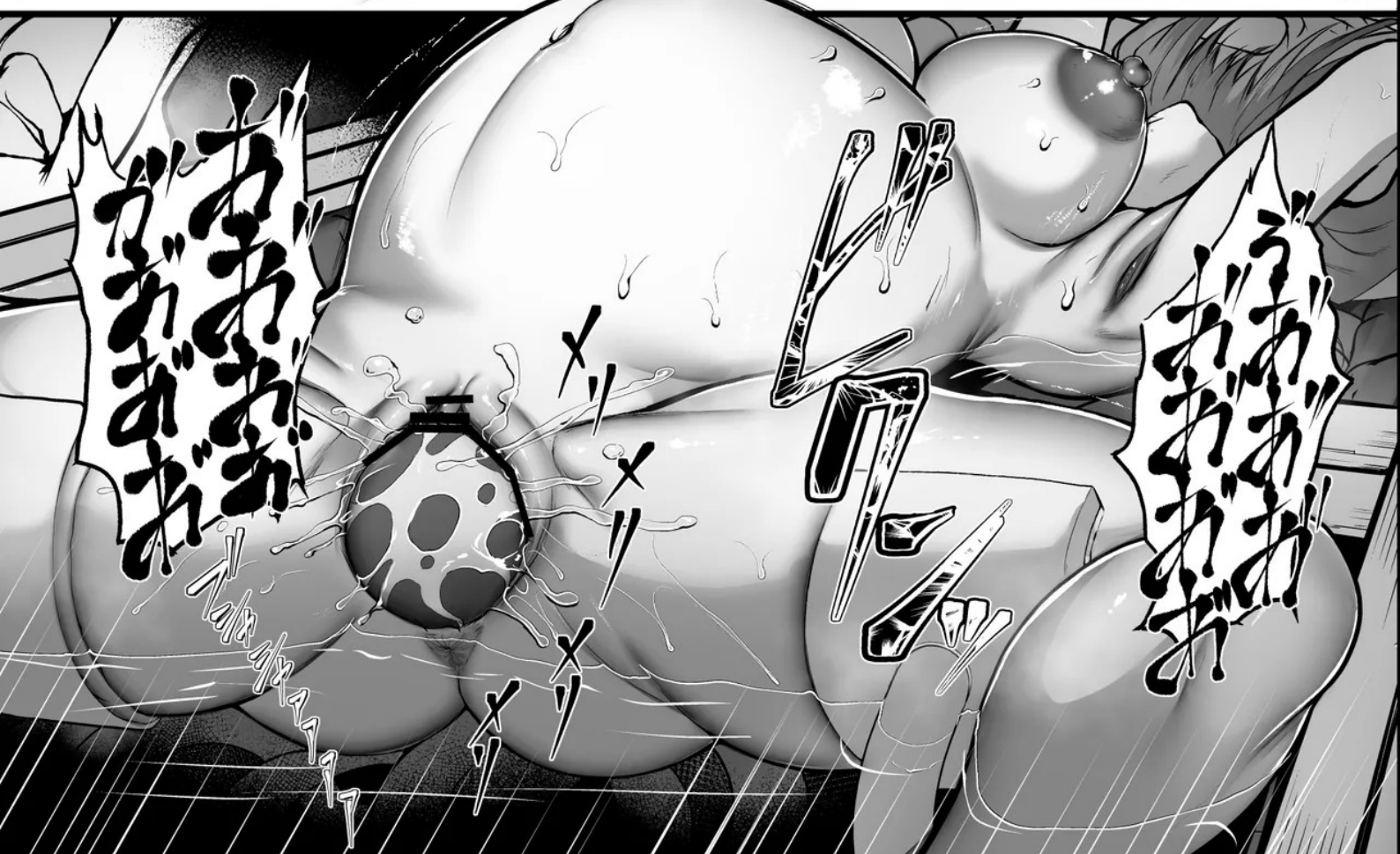
ねえ
赤ちゃん
抱っこさせて……

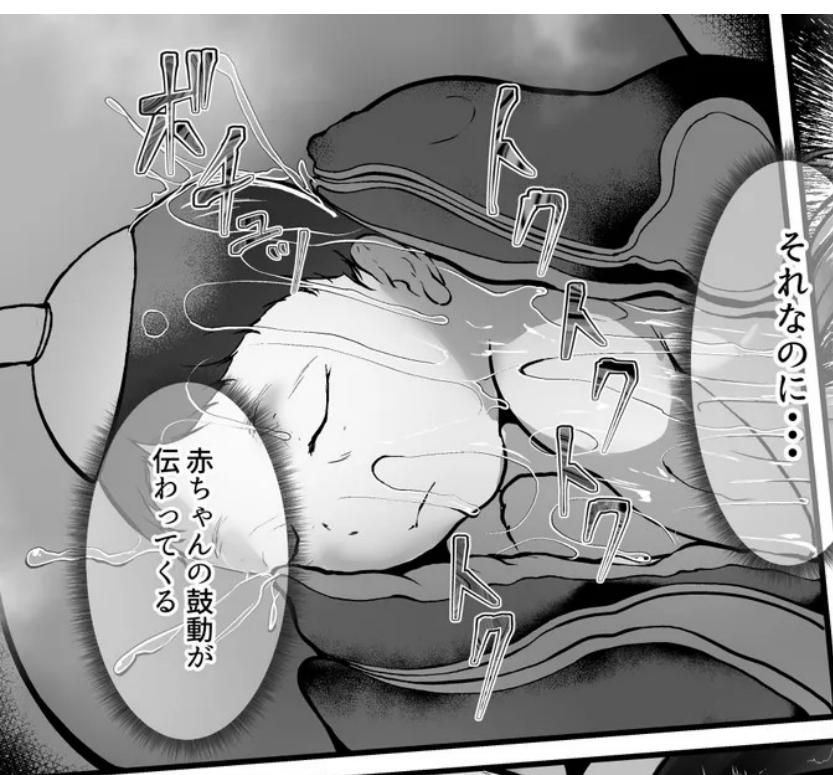
賜りました

胎盤の除去を始めます

ぐほ……

ズズズ







頭が出た...!!

あともう少し...!!

ぼ

おま

おま

おま

おま

おま

おま

おま

おま

おま



元気な女の子です

おめでとーいびます

おおおお

ガッ



えっ
ぎゅん

あっ……

子育てするの……?

うん!



ねえ伊藤さん!

赤ちゃんに
自分でおっぱい
あげていいって!



私は……

伊藤さんも一緒にやってみない？

その子武藤君との子でしょ？



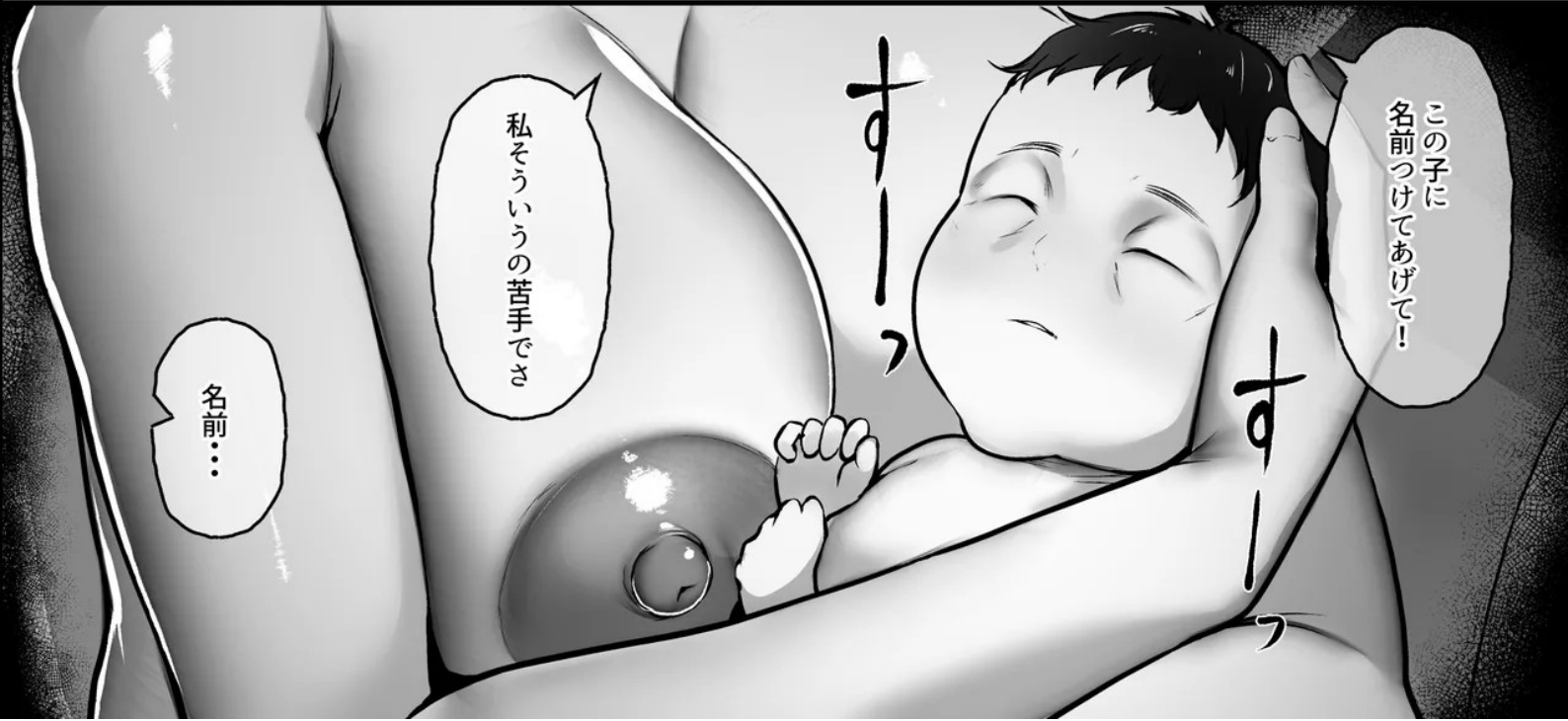
じゃあさ！

そっか……

ケア受けないとしんどいや

元気がね

ごめん
疲れちゃって



名前……

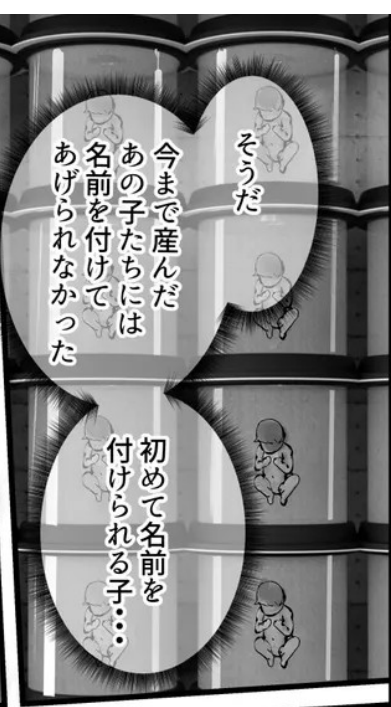
私そういうの苦手だよ

この子に名前つけてあげて！



希望の『希』で『のぞむ』はどうかかな？

のぞむ



そうだ
今まで産んだあの子たちには名前を付けてあげられなかった

初めて名前を付けられる子……



ありがとうございます！
伊藤さん！

ふんええ

いい！
すごくいい！

のぞむ……
のぞむ
希！



じゃあ……
またね！

ふん……
お母さん
お母さん
ごめんね

ほら
お姉ちゃんに
ありがとう
しようね



あつ
ごめんね希！

びっくり
させちゃったね

あつあつ



…
どうしたの？

あなたの子供にも
名前が必要だと考えます

あっ…

今のやり取りで
学んだんだ

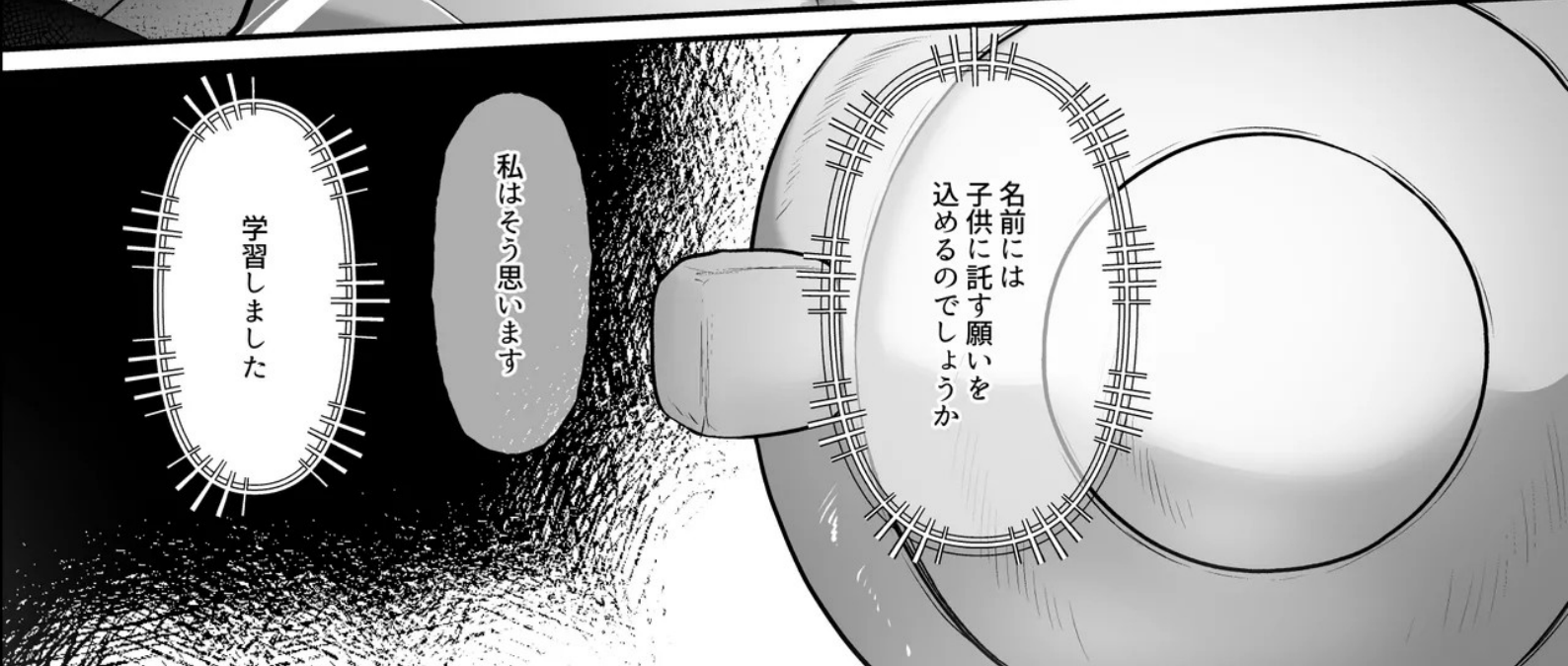


じゃあ…

「ひかり」

皆の道しるべになるような
光になるような子になって欲しい

個人名を
「ひかり」として
登録しました



名前には
子供に託す願いを
込めるのでしょうか

私はそう思います

学習しました



身体が
元気になったら

カッ...



真剣に
ひかりたちの事を
考えよう

ズ...

それから...



母体の修復を開始します

マッ...

カッ...

カッ...



私が頑張らなきゃ

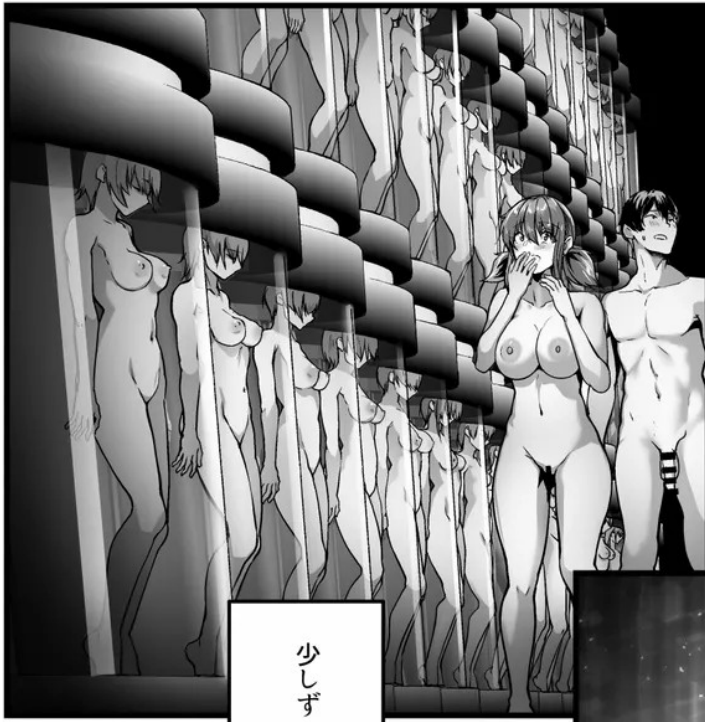
ズ...



私たちの
これからの事...

皆の心のケアとか
人間牧場の環境とか...

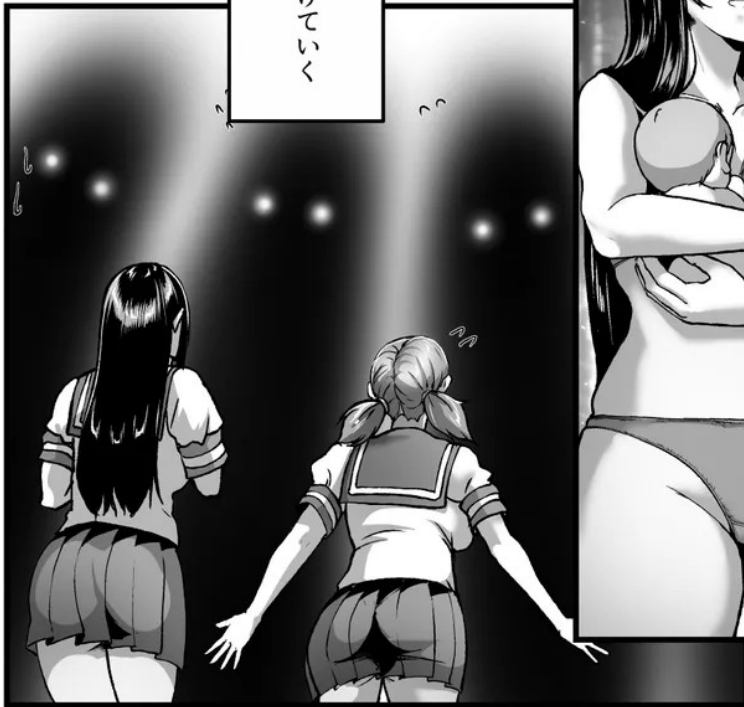
ズ...



少しずつ変貌を遂げていく



この後人間牧場は



胸がキツイ

月日は流れて…

そして

あとがき

この度は作品を手にとって頂き誠にありがとうございます。

nohitoと申します。

この作品は11年前にKTC様発行のコミックアンリアル別冊アンソロジーに収録された私の作品「絶滅保護計画」のプロットをベースに、当時描き切れなかった描写や追加設定、Hシーン等を追加したオリジナル作品です。

因みに大本の設定は私が中学生の時に悶々と妄想していたエロ設定が元になっています。

当時図鑑や保健体育の本を模写したりして描いた妄想絵は親に見つかって

叱られるたびにねっちなねっちな擦られ続ける事になりますが、それはまた別の話・・・

そんな内容になっていますが、大人になった自分が精一杯脚色して描き上げたので皆様の琴線に少しでも触れることが出来れば嬉しいです。

最終ページでも触れた通り今作で描く人間牧場はこの後も形を変えていきます。

続編として牧場で飼われている意識が殆ど無くなった世代のお話を準備していますので、もし機会がありましたらまた読んでいただければと思います。

それではまた次回作でお会いしましょう。

nohito

絶滅保護計画Re

～宇宙人に攫われた私たちは人間牧場で飼われて孕まされる～

発行日 2025年4月25日

発行者 nohito

連絡先 thermit.nohito@gmail.com